

失敗から学ぶ



しかし、予行練習の時は、とてもきんちょうして言葉が出ませんでした。終わってから、失敗したので練習が必要だと思いました。家に帰ってからは、覚えるまでたくさん練習してうまくできるようにいのりました。発表前は、覚えたことを確にんしながら、とてもきんちょうして心ぞうがばく発しそうでした。発表の時は、頭の中で考えながら、すべて話すことが出来

ました。終わってさっぱりしたので、口で小さく息をはきました。

きんちょうすると、覚えたことをわすれてしまうので、きんちょうしても話せるようにたくさん練習することが大事だと思いました。

～予行の感想発表の時は失敗しました。そのとき、『失敗は成功のもと』という言葉が浮かんできました。失敗したけれど、もっとがんばるぞと思って練習したら、本番は成功しました。今年の青聾祭は全て成功することができて良かったです。練習の成果が出たので、きらきらかがやいた青聾祭でした。

「きらきらかがやいた青聾祭」

小学部 5年 KKさん

- Q 「口で小さく息をはきました」とあります。息をはいていたとき、そして、その後、どんな気持ちになりましたか？
- Q 「失敗したけれど、もっとがんばるぞと思って練習した」とあります。失敗したらもういやだと逃げたくなります。Kさんはどうして、「もっとがんばるぞ」と思うことができたのですか？

先生が怒り、高等部のみんなで話し合いをした。内容はみんなの悪いところを言ったり、自分の悪いところを言ったりする話し合いだった。そして、これから、どうするかについてまとめていった。話し合いの時は静かな様子だった。

これからどうするか意見を出した。色々な話し合いをした後に、放課後先生に謝りに行った。先生から一言、言われて、自分は頑張ろうという気持ちになった。

できなかったことをみんなで話し合っ、みんなが目標を言って頑張ろうという気持ちになったから、また、みんなの心が一つになった。

～僕は前は気持ちを入れてなかったけれど、今回は気持ちを入れて、みんなで助け合っ、直して・・・を繰り返した。その時から、気持ちを込めてお互いにわからないところがあったら助け合うようになった。



「感激」

高等部 2年 MS君

Q 「みんなの悪いところを言ったり、自分の悪いところを言ったり」とあります。自分の悪いところを言われて、不機嫌になったり言い争いになったりしなかったのですか？しなかったとしたらなぜだと思いますか？

Q 題名は「感激」です。作文の中に「感激」についての記述は特にありませんでした。だからこそ、伝わってくるものがたくさんあったのですが、M君はどんなことに「感激」したのですか？

自分のことは自分でできる 必要があれば助けを求められる
人と関わりながら 主体的に生きていこうとする生徒

という目指す生徒像に向かって本校は教育活動を行っています。
平成30年度から3年間の校内研究のテーマも「人とのかかわり」です。

のりこえよう 仲間とともに 輝く自分 ヘイカモン☆

ご存じ、今年度の児童生徒会スローガンです。

私は、今回のテーマを「他人の力を借りる力」と理解しました。これは「一人一人がみな違う」、ということが前提になる発想だと考えています。なぜなら、それぞれ違う力が合わさるから大きな力になると考えるからです。ところが、この構造はいうほど簡単ではありません。自分に自信がなければどうしても他人と比較しがちです。「プライド」とか「優越感」とかが立ちはだかり、「他人の力を借りる力」はなかなか身につかないのです。

保護者の方からの生徒へのメッセージです。ありがとうございました。

先日、卒業生がお世話になっている企業の方が来校して、就職して1年もたたないのに、人間関係や自分が思い描いていたイメージと違うという理由で、休職したり転職したりする生徒が増えているということをお話されていました。つまづいたり失敗したりする経験から、多くを学び取りますが、つまづきや失敗の経験すら今の子どもたちは希薄なのではないでしょうか。加えて、大人が手を出しすぎているということなのではないでしょうか。

その方がある傾向をお話されていました。

▲聾学校しか知らない生徒は自己中心性が高い。「自分」の姿だけにこだわり、他の意見や他者からどう見られるかという視点がない。

▲メンタルが弱くすぐ体調不良に逃げ込む。

○健聴の子との交流等、健聴の子と過ごした経験が多い子は適応力が高い。

○自分からコミュニケーションを取りに行く力のある子は問題が少ない。

耳が痛い話です。ただ、ここから私たちは学ばねばなりません。聾学校しか知らない生徒は自己中心性が高い。これは学校側の問題だと思います。2人の作文を読んで、自分でつかった喜びと成長を感じます。子どもたちの真の成長とは何か、そのためにどんな教育活動をしなければならないのかを考えなければなりません。保護者の皆様も思うところがあられるかと思います。ご意見をお寄せください。